

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	とものつくる住みよい地域社会の実現
施策	12	市民活動
基本方針		
町内会・自治会、ボランティア・サークルなどの市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互の連携を支援し、ふれあいや助けあいが日常的に行われる活気ある地域社会をつくります。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
町内会・自治会活動への支援	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
市民活動センターの充実	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
地域集会施設・学習等供用施設の更新等の検討	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
若い世代のまちづくりへの参加の機会の検討・提供	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策12「市民活動」では、4事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、全て「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、全てA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互の連携を支援し、ふれあいや助けあいが日常的に行われる活気ある地域社会をつくる」ことであり、「町内会・自治会活動への支援」では、各町内会・自治会及び町内会連合会に対する助成金による財政支援を行い、各会とも年間事業をほぼ予定どおり完了したほか、加入促進活動の支援については、はむら夏まつり、産業祭などのイベントへの共同参加、駅前加入促進キャンペーン、活動写真展、加入促進イベントなどを通じて、町内会・自治会の会員数の減少の抑制に寄与した。</p> <p>また、「若い世代のまちづくりへの参加の機会の検討・提供」として、「はむら若者“輝”会議」の開催、都立羽村高校との連携事業「はむらまちづくりワークショップ」の開催など若者の意見を聴く場をつくることで、若者の市政参加へ寄与するなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>

1.基本項目	作成部署	市民生活部				地域振興課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 町内会・自治会活動への支援	不明	年	その他	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	12	市民活動	管理No.	1	

2.事業の概要

施策の基本方針	町内会・自治会、ボランティア・サークルなどの市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互の連携を支援し、ふれあいや助けあいが日常的に行われる活気ある地域社会をつくります。
事業内容	各町内会・自治会活動のさらなる活性化や、会員減等の課題の解決策について、町内会連合会が行う加入促進策や退会防止策などの取組みを支援していきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市町内会及び自治会が行うコミュニティ事業に対する助成金交付要綱他

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	町内会・自治会、町内会連合会への助成、加入促進活動の支援	同左	同左	同左
	・はむら夏まつり、産業祭での加入促進活動の支援	同左	同左	同左
	・加入促進パンフレットの印刷	同左	・加入促進パンフレットの印刷	同左
	・駅前、市役所ロビーでの加入促進キャンペーンの実施	同左	同左	同左
	・町内会連合会、PTA連合会共催の加入促進事業への支援	同左	同左	同左
	町内会連合会と退会防止・加入促進策の実施支援	同左	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	960H	1人	960H	1人	960H	1人	960H
主事・主任職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	1人	240H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	20,289	20,117	20,289	20,120
人件費(係長職)	4,614	4,614	4,614	4,614
人件費(主任・主事職)	758	758	758	758
総事業費(合計)	25,661	25,489	25,661	25,492
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	25,661	25,489	25,661	25,492
財源内訳(合計)	25,661	25,489	25,661	25,492

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 459 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

○「町内会/自治会、町内会連合会への助成」については、全39町会に対し『コミュニティ助成金』を、町内会連合会に対し『町内会連合会助成金』を交付し、自主活動充実のための財政的支援を行った。
 ○「加入促進活動の支援」については、はむら夏まつり、産業祭などのイベントへの共同参加、駅前加入促進キャンペーン、活動写真展、加入促進イベント「第4回ご近所・こどもまつり」の実施支援、加入促進パンフレットの配布、市役所1階ロビーへの加入促進コーナーの設置などを通じて、町内会・自治会の加入促進活動の支援を行った。
 ○町内会連合会と退会防止・加入促進策の実施支援として、「安否確認活動訓練(黄色いタオル作戦)」を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	20,117	-	20,117	20,025	99.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	960 H	1人	960 H
主事・主任職	1人	240 H	1人	240 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○加入促進活動実施支援 7回(はむら夏まつり、産業祭、加入促進パンフレットの配布、加入促進コーナーの設置、活動写真展、駅前加入促進キャンペーン秋・春、ご近所・こどもまつり) ○町内会連合会と退会防止・加入促進策の実施支援		○加入促進活動実施支援 7回(はむら夏まつり、はむらふるさと祭り、産業祭、加入促進パンフレットの作成・配布、加入促進コーナーの設置、活動写真展、駅前加入促進キャンペーン秋、ご近所・こどもまつり) ○町内会連合会と退会防止・加入促進策の実施支援「安否確認活動訓練(黄色いタオル作戦)」を実施

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

各町内会・自治会及び町内会連合会に対する助成金による財政的支援を行った結果、各会とも年間事業をほぼ予定どおり完了したことから、「施策の基本方針」に掲げる『市民活動団体の自立した活動の支援』が図られたと考える。また、加入促進活動への実施支援を行った結果、町内会・自治会の会員数の減少の抑制に寄与し、各会において活気ある活動が展開されたことから、「施策の基本方針」に掲げる『活気ある地域社会づくり』が図られたと考える。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

町内会連合会、各町内会・自治会と連携しながら、事業や役割の見直しを進め、町内会・自治会が持続可能な環境を整備する。

1.基本項目		作成部署		市民生活部		地域振興課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 市民活動センターの充実		平成 23 年		継続		自治事務(市独自)	
						直営	
01		年					
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課							
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		12 市民活動		管理No. 2	

2.事業の概要

施策の基本方針	町内会・自治会、ボランティア・サークルなどの市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互の連携を支援し、ふれあいや助けあいが日常的に行われる活気ある地域社会をつくります。
事業内容	市民活動団体の活動支援やNPO法人の設立支援を行います。また、市民の地域活動への参加を促すため、各種講座を行うとともに、市民活動団体の活動拠点となるよう、コミュニティセンターなどの改修について検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	市民活動相談 76件 (平成30年12月末現在)	同左	同左	同左
	市民活動団体の把握と活動情報等の発信	同左	同左	同左
	市民活動情報紙「きずな」の発行 6回	同左 6回	同左 6回	同左 6回
	市民活動講座の実施 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	市民活動拠点の設置検討	同左	同左	検討結果の反映

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	80 H	1人	80 H	1人	80 H	1人	80 H
主事・主任職	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	3,309	3,278	3,278	3,278
人件費(係長職)	385	385	385	385
人件費(主事・主事職)	316	316	316	316
総事業費(合計)	4,010	3,979	3,979	3,979
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	4,010	3,979	3,979	3,979
財源内訳(合計)	4,010	3,979	3,979	3,979

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

市民活動相談件数は、68件であり、市民活動団体の把握と活動情報等の発信として、市民活動団体ガイド・団体サークルガイドの更新を行った。
 市民活動情報紙「きずな」は6回発行し、市民活動講座として「ファシリテーター養成講座」、「交通事故をゼロに！～加害者・被害者にならないために～」を実施した。
 ・ファシリテーター養成講座(R1.10.27):参加者11人
 ・交通事故をゼロに！～加害者・被害者にならないために～(R2.2.9):参加者55人
 また、市民活動拠点の設置について、検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	3,278	-	3,278	3,181	97.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	80H	1人	80H
主事・主任職	1人	100H	1人	100H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市民活動相談 76件 ○市民活動団体の把握と活動情報等の発信 ○市民活動情報紙「きずな」の発行 6回 ○市民活動講座の実施2回 ○市民活動拠点の設置検討		○市民活動相談件数 69件 ○市民活動団体ガイド・団体サークルガイドの更新 ○市民活動情報紙「きずな」の発行 6回 ○市民活動講座の実施2回 ○市民活動拠点の設置検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

羽村市市民活動基本計画及び実施計画に基づき、市民活動団体等の活動や連携を支援し、ふれあいや助けあいが日常的に行われる活気ある地域社会づくりを行った。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

市民活動団体連携協議会等と連携しながら、市民活動センターの充実に向けて取り組んでいく。

1.基本項目		作成部署		市民生活部 地域振興課		
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	地域集会施設・学習等供用施設の更新等の検討	平成 28 年	その他	自治事務(市独自)	直営	
	01		年			
	02		年			
	03		年			
	04		年			
	05		年			
関連課		建築課				
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	12	市民活動	管理No.	3

2.事業の概要

施策の基本方針	町内会・自治会、ボランティア・サークルなどの市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互の連携を支援し、ふれあいや助けあいが日常的に行われる活気ある地域社会をつくります。
事業内容	建築年次の古い地域集会施設・学習等供用施設の耐震診断を行い、町内会・自治会や市民活動団体などが活動しやすい施設として、長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討します。
根拠法令	建築物の耐震改修の促進に関する法律
条例	
要綱等	羽村市耐震改修促進計画

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	五ノ神会館の長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討	同左	五ノ神会館の空調改修工事(設計)の実施	五ノ神会館の空調改修工事、屋上防水・外壁改修工事の実施
	加美会館の長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討	同左	同左	同左
		中央館の耐震診断の実施	中央館の耐震診断結果に基づく長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討	同左
			栄会館、三矢会館、神明台会館、富士見平会館、小作本町会館の耐震診断の実施	栄会館、三矢会館、神明台会館、富士見平会館、小作本町会館の耐震診断結果に基づく長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討 緑ヶ丘会館、美原会館の耐震診断の実施 神明台会館の屋上防水改修工事の実施 緑ヶ丘三町会館、上水会館の空調・防水等改修工事の実施 中央館、天王台会館の屋上防水・外壁改修工事の実施

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	720 H	1人	720 H	1人	720 H	1人	720 H

②事業費

事業費の内訳（単位：千円）	平成30年度（現況）	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費		3,218	18,651	156,838
人件費(係長職)	1,154	1,154	1,154	1,154
人件費(主任・主事職)	2,272	2,272	2,272	2,272
総事業費(合計)	3,426	6,644	22,077	160,264
国庫支出金		458	3,092	1,661
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		2,710		
起債				
一般財源(人件費含む)	3,426	3,476	18,985	158,603
財源内訳(合計)	3,426	6,644	22,077	160,264

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

○「中央館の耐震診断の実施」については、予定どおり6月から診断が実施され、その後、12月に「耐震性能が確保されている」との診断結果が出され、その結果を会館に掲示した。
 ○「五ノ神会館の長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討」については、「同会館を長寿命化して現状のままの形態で使用する。」という結論に至っており、令和2年度に空調機更新のための設計と改修工事、屋上防水・外壁改修を順次行うことを決定した。
 ○「加美会館の長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討」についても、当該会館を利用する町内会で構成される加美会館運営委員会に意見を聞いたところ、「現状のままの形態での使用を希望するので、必要な修繕をお願いしたい」との意見を得ており、今後、庁内の公共施設等総合管理計画の検討委員会等で、加美会館の長寿命化等について検討していく。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	3,218	-	3,218	1,430	44.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	720 H	1人	720 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○中央館の耐震診断の実施 1回 ○関係課での五ノ神会館の長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討 1回 ○加美会館運営委員会との同会館の長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討 1回		○中央館の耐震診断の実施 1回 ○関係課での五ノ神会館の長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討 1回 ○加美会館運営委員会との同会館の長寿命化・集約化・複合化・多機能化等について検討 1回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

「五ノ神会館と加美会館の長寿命化・集約化・複合化・多機能化等についての検討」は、市民活動団体の活動場所である地域集会施設・学習等供用施設の整備に寄与するものであることから、「施策の基本方針」に掲げる『市民活動団体の自立した活動の支援』と『活気ある地域社会づくり』につながるものと考えられる。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

五ノ神会館の空調改修工事(設計)及び会館等の耐震診断については、市の厳しい財政状況を考慮し、少ない費用で最大の効果を挙げられるよう、費用対効果を意識した検討を進めていく。

1.基本項目		作成部署		市民生活部		地域振興課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 若い世代のまちづくりへの参加の機会の検討・提供		平成 26 年		継続		自治事務(市独自)	
01		年				直営	
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課		企画政策課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		12 市民活動		管理No. 4	

2.事業の概要

施策の基本方針	町内会・自治会、ボランティア・サークルなどの市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互の連携を支援し、ふれあいや助け合いが日常的に行われる活気ある地域社会をつくります。
事業内容	若い世代がまちづくりや地域コミュニティを担う人材として活躍することができるよう、まちづくりへの参加の機会の検討・提供に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	はむら若者“輝”会議 8回	同左 8回	同左 8回	同左 8回
	都立羽村高等学校との連携 事業の実施	同左	同左	同左
	プラチナ未来スクール(市長 会助成事業)			
	杏林大学との連携事業の実 施	同左	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	80H	1人	80H	1人	80H
主事・主任職	1人	100H	1人	80H	1人	80H	1人	80H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	870	533	533	533
人件費(係長職)	481	385	385	385
人件費(主任・主事職)	316	253	253	253
総事業費(合計)	1,667	1,171	1,171	1,171
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	280			
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,387	1,171	1,171	1,171
財源内訳(合計)	1,667	1,171	1,171	1,171

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

「はむら若者“輝”会議」を3回、「市の取組み見学ツアー」を2回開催した。
 また、都立羽村高等学校との連携事業では、高校2年生を対象として「はむらまちづくりワークショップ」を開催した。
 杏林大学との連携事業では、43事業を計画し、協議の上、多くの事業を杏林大学の教員・学生と連携して実施した。
 ・はむら若者“輝”会議:6月20日参加者5人、9月26日参加者4人、1月30日参加者3人
 ・市の取組み見学ツアー:8月17日参加者9人、12月21日参加者9人
 ・羽村高校連携事業「はむらまちづくりワークショップ」:12月12日、12月13日

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	533	-	533	391	73.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	80 H	1人	80 H
主事・主任職	1人	80 H	1人	80 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○はむら若者“輝”会議の実施 ○都立羽村高等学校との連携事業の実施 ○杏林大学との連携事業の実施		○「はむら若者“輝”会議」3回開催 ○「市の取組み見学ツアー」2回開催 ○都立羽村高等学校との連携事業の実施 ・「はむらまちづくりワークショップ」 ○杏林大学との連携事業の実施 43事業

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性 <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

若い世代に対し、まちづくりへの参画を促し、機会の提供、人材育成を行うことができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後も若い世代が活躍できるよう参画の機会を提供し、人材育成を支援していく。